



▼ ごあいさつ ▼

日頃は **NEZUGROUP** とお取引頂きまして、誠にありがとうございます。
今回の NEZU システム通信は

- ① 鉄鋼関連情報(社団法人鉄鋼連盟 2016 年 6 月発表)
- ② 「災害に備えて」についてお届け致します。

① 鉄鋼関連情報

下記 URL より社団法人鉄鋼連盟が発表した『鉄鋼需給の動き 2016 年 6 月』の資料を閲覧することが出来ます。

<http://www.jisf.or.jp/data/jyukyu/documents/jyukyu1606.pdf>

② 災害に備えて



甚大な災害(地震、火災等)が発生しても企業活動は継続しなければなりません。
今月号は弊社の災害訓練とシステム系の災害対策について紹介致します。

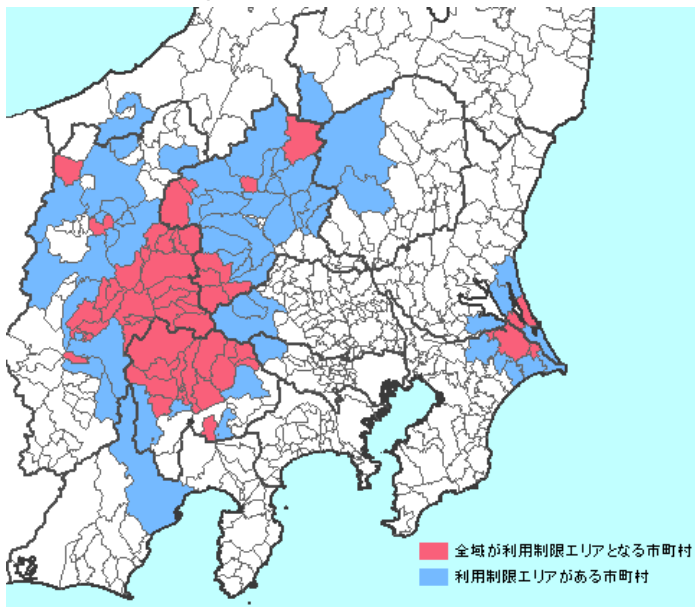
弊社は東日本を中心に 10ヶ所の拠点があります。年 2 回(3 月と 9 月)には全社で避難訓練を実施しています。結果は衛星電話を使って本社へ報告します。訓練を行なって発見された問題点や改善点を次回の訓練へのフィードバックを行なっています。

また、災害が発生した場合に備えて「災害用伝言ダイヤル」を利用した従業員の安否確認の訓練を同時期に実施しています。

■衛星電話の利用

災害時には固定電話、携帯電話の通話インフラが災害を受け、長時間利用できなくなる可能性があります。弊社では各拠点に衛星電話を配備して災害時の連絡不通に備えています。

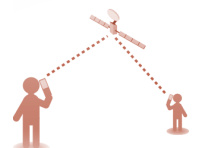
衛星電話の操作は癖があります。発信は国際電話と同じで、通話先の国番号+電話番号で



発信します。発信しても数十秒は無音になります。初めて通話する時はこの無音の時間が不安になります。

また室内ではつながりません。屋外でも発信者の南側に高いビルがあるとつながりません。実際に通話して体験することが大切です。

※衛星電話は種類によって天文台に影響を及ぼすため、災害時以外の利用を制限された区域があります。事前に販売店に確認すると良いでしょう。



■災害用伝言ダイヤル(171)の活用

災害用伝言ダイヤル(171)



1電話番号あたり 最大10伝言、48時間保存

伝言の録音 171 ▶ ガイダンス ▶ 1 ▶ 0× ×
(被災地の方の市外局番からの電話番号)

伝言の再生 171 ▶ ガイダンス ▶ 2 ▶ 0× ×
(被災地の方の市外局番からの電話番号)

毎月1日と15日に練習が出来ます。弊社では年2回の避難訓練の月に実施日を決めて練習をしています。実際に行くと、色々な問題点や運用の工夫点が発見されます。回を追うごとにスムーズに出来るようになります。ご家庭でも一度、練習してみたいかがでしょうか？

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

■遠隔地へデータのバックアップをする仕組み

拠点が喪失する程の甚大な被害を想定して、各拠点のデータは遠隔地の拠点に夜間バックアップを実施しています。例: 関東エリア⇒中部エリア、中部エリア⇒東北エリア、東北エリア⇒関東エリア

■インターネットを利用したバックアップをする仕組み

複数拠点や遠隔地に拠点が無い場合でも、近年では、インターネット上にデータを保管するサービスもありますので検討してみたいかがでしょうか。



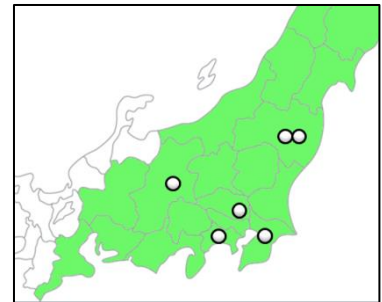
■通信の2重化(冗長化)

弊社の生産系データはデータセンターに集約しています。通信の信頼性向上のため通信手段を2重化しています。有線通信が途絶えた時には自動的に無線通信による通信手段に切り替わる仕組みで運用しています。(復旧した時は自動復帰)

■お客様製品仕様の一元化管理

弊社は加工拠点が6つございます。全ての拠点で、お客様製品仕様の情報を一元管理で運用していますので、災害発生などの有事の際には加工拠点の変更を行うことができます。どこの拠点が加工しても、同じ品質で加工ができる取組をしています。(加工工場指定のある場合は、お客様と協議の上)

どこかの加工工場に障害が発生しても、他の拠点で代替加工、出荷が可能な仕組みを構築しています。



根津グループ・加工拠点

備えが重要

災害はいつ起こるか分かりません。

発生しても混乱や被害を最小限に抑えるための訓練や設備や仕組み作りは欠かせません。

今年も避難訓練と安否確認を実施しました。結果報告の衛星電話がなかなか繋がらない拠点がありました。また責任者が不在で代理者が衛星電話操作に不慣れのため通話までに時間がかかる拠点もありました。訓練を実施して気付く点が多々あります。訓練は繰り返して行なって、イザという時にスムーズに行動出来ると思います。現在、携帯電話を活用した緊急連絡網の構築を検討しています。

まずは出来ることから準備をして、練習、実践する事が大切です。



■ 編集後記 ■

情報システム事業部の浜です。先日久しぶりにツーリングに行ってきました。

諏訪から静岡に行き、富士宮焼きそばを食べ、本栖湖～国道52号～国道20号で帰宅。1日楽しく乗ってきました。ツーリングもコースを組み立てるのが楽しいですが目的地が、コテコテラーメン屋さんとかデカ盛りの有名店とか、年甲斐もなく高カロリーのお店を選んでしまいます。そろそろ、情緒的風景を目的地とするコースを選べるようにしなくては・・・と 思いつつ実行できていません。道中のご当地ソフトとか美味しいんですよ。やめられません！

腰痛持ちで、最近では神経痛まで出てきて足まで痛いのですが・・・車やバイクの運転では痛みがでないという不思議な現象が起こっています。何故でしょうか？(笑。これからの時期行楽シーズンで、車やバイクが増えます。皆さんも安全運転をお願いします。



本栖湖の風景 (千円札裏面の逆さ富士の場所です)

発行：根津鋼材 株式会社

住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 1-32-5 (TEL) 03-3805-5555

メール：hp-master@nezu-g.co.jp ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>

発行人：根津訓光／監修 樋口良成／編集長

編集：情報システム事業部

※NEZU システム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様のみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが hp-master@nezu-g.co.jp までご連絡ください。その際には、御社名、御社(配信先)メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願い致します。